

2008.04.02 (水) 18:00

大阪大学医学部講義棟 C 講堂

第 38 回未来医療セミナー

自然免疫系の活性制御と 炎症性腸疾患

大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学 教授
竹田 潔 先生

近年、微生物を認識するToll-like receptorの機能解析により、免疫応答における自然免疫系の重要性が明らかになってきた。さらに、自然免疫系の活性異常が、これまで獲得免疫系を中心にその原因が語られてきた全身性エリテマトーデス、炎症性腸疾患などいくつかの免疫疾患の発症にも深く関わっていることが明らかになってきている。本講演では、炎症性腸疾患をモデルとして、自然免疫系の活性制御機構の破綻と疾患の関係について、特に腸管局所における自然免疫応答を中心に、我々の研究成果を中心に紹介したい。

連絡先: 未来医療交流会 (大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557/6551, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

協賛: 大阪大学21世紀COEプログラム「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

- Center for Integrated Cell and Tissue Regulation -